

川口市立在家小学校エコクラブ



芝川の土手の観察

所 在：川口市

構成員：115名

自然体験（芝川の自然環境から、校内に生きものを呼び込むビオトープ活動など）・エコ活動（古紙回収や給食の牛乳パックを開いて出す活動など）を行うことでエコチケット（校内通貨）がもらえるシステムになっています。また、エコチケットを、児童がリサイクルして作ったエコ商品と交換できるエコ市場を開催することで、児童にエコ活動を実践させ、環境への意識を高めています。

身近にできるエコ活動

～芝川から、ビオトープへ・エコ活動から、エコ市場へ～



受賞の取組

- ・PTAや青年会議所と連携して作ったビオトープでの自然観察会の実施
- ・家から古新聞やダンボール、雑誌などを持参する古紙回収への月1回の協力
- ・エコな行動をするともらえるエコチケット（学校内通貨）で一学期に1回エコ市場を開催

取組をはじめたきっかけ

本校のすぐ横を流れる芝川は、「近寄ってはいけない川」でした。しかし、土手には、花の咲く植物も多く、ナマズ・テナガエビ・クサガメ・マハゼなどいろいろな生きものが住んでいます。川面には、カワセミも飛んでいます。この川を生きた教材にするため、授業だけではなくエコクラブを結成して、日常的に子ども達に触れさせたいと考えました。

これからの展望

芝川やビオトープなどの自然観察会の充実を図っていく計画です。来年度は、回数を増やしたいと思います。四季を通じて観察会をすることで、生きものや水質の変化などを記録し、データ化していきます。また、自然を守る活動（ゴミや自転車の川底からの引上げ）をおこない地元の町会にも呼びかけていき輪を広げていく予定です。

身近なエコ活動は、エコ市場が軌道に乗って来たので子ども達のアイデアを生かし、楽しみながらの活動にさらにしていきたいと考えています。



エコ市場でのお店の様子



PTAバザー（牛乳パックからリサイクルはがき作り）

受賞して



今回受賞できたのは、たくさんの方々にゲストティーチャーとして来ていただき御支援いただいたおかげだと思います。川口植物の会から西川さん、生き物の先生横山さん、川口市民環境会議から牧野さんなど、たくさんの方々に応援していただきました。本当にありがとうございました。学校やPTAの方々にも、ビオトープ作りではお世話になりました。

今後は、芝川の観察や気軽なエコ活動をさらに進め、子どもたちに様々な活動を通して環境問題について考えさせていきたいと思っています。